



パレード(第1回)

タイムスリップ

道風平安朝行列

パレードのメイン行事です。第9回から始まったもので、市民の中から選ばれた小野道風、藤原佐理、藤原行成の三跡と小野小町らが、十二単など平安時代の衣装を着て歩きます。写真を見ると、最初は1台の車に4人が乗り込んでいたことがわかります。その後は、牛や馬が車を引いたりしたこともありました。



第9回



個性豊かなパレード

第1回から続くパレード。踊ったり、歌ったり、楽器を演奏したり、出演者は華やかに進んで盛り上げます。そして、沿道からは多くの人が大きな声援を送ります。今年は応援グッズが配られて、よりにぎやかなパレードになりました。

40回を迎えた春日井まつり

10月15日(土)・16日(日)の2日間にわたって行われた春日井まつり、皆さん出掛けましたか。天気も良く、たくさんの人でにぎわいました。昭和52年から開催されているこのまつりは、今年40回目の節目を迎えました。そこで、今回のまつりの様子を写真で振り返りながら、昔から受け継がれてきた事柄を紹介したいと思います。



メインステージ(第13回)

まつりの魅力といえ、おいしいものを食べたり、面白いものを買ったり、体験したり。いろいろなことが一度に楽しめる場所です。今年40回記念として、書家や

おいしい!楽しい!いろいろなイベント

画家が書や似顔絵イラストなどを創作する「書・似顔絵の小道」が登場。まつりの思い出にと、たくさんの方が足を止めていました。



会場のあちこちで盛り上がるステージショー

市役所の周辺や中央公園には、今年、SKE48によるショーや春日井広報大使3人によるコラボレーションで盛り上がったメインステージをはじめ合計6つのステージがありました。みんなが笑顔になれるようなものから真剣に見入ってしまうもの、観客とステージが一緒に盛り上がるショーなどいろいろな場面が楽しめました。



タイムスリップ

ステージの歴史

昔のステージの様子です。現在も、流鏝馬は中央公園のステージで行われていますが、昔は実際に、馬の上に乗って走りながら矢を射っていたときもありました。



子どもギネス大会(第6回)



かえるフエスタ(第14回)



やぶさめ流鏝馬(第8回)

タイムスリップ

秋田県男鹿市との交流

春日井まつりの名物の一つに「全国お国巡り物産展」があります。北は秋田から南は沖縄まで、日本各地の名産品が並びます。中でも秋田県男鹿市は、第1回から出展、なまはげによるステージも会場を盛り上げています。また、男鹿市とは、それぞれの小学生が互いの市を訪れる交流学習を30年(29回)にわたって行っていて、毎年新たな絆が生まれています。



第1回



第40回



なまはげによるステージ(第16回)